

## 1 実態調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査では、保健室等登校児童生徒に対する各学校の対応の在り方について現状と課題を把握し、保健室等登校児童生徒及び不登校児童生徒へのより効果的な対応の在り方を探ることを目的として実施した。

### (2) 調査の内容

保健室等登校児童生徒への対応について、次のような観点で21項目の調査票（選択式，一部記述式）を作成し，調査を行った。

- ア 保健室等登校児童生徒数
- イ 保健室等登校児童生徒への対応方法
- ウ 過去の保健室等登校児童生徒への対応事例等

### (3) 調査の方法及び対象

#### ア 調査の時期

平成14年7月

#### イ 調査の方法

各学校に調査用紙を送付し，回答票は無記名とした。その時点で保健室等登校児童生徒が在籍している場合には，該当する児童生徒の状況についてそれぞれ個別の回答を依頼した。

#### ウ 調査の対象

県内の全公立小・中学校，高等学校，盲・聾・養護学校を対象とした。回答学校数は，小学校587校，中学校273校，高等学校77校，盲・聾・養護学校13校である。

### (4) 保健室等登校児童生徒の現状

実態調査の中から，保健室等登校児童生徒についての現状と課題を整理するため，主な内容を抜粋して紹介する。

#### ア 保健室等登校児童生徒の在籍学校率及び児童生徒数